

箕面駅周辺整備実施設計業務

懇 話 会 資 料

[外 構 施 設 編]



2010 年 5 月

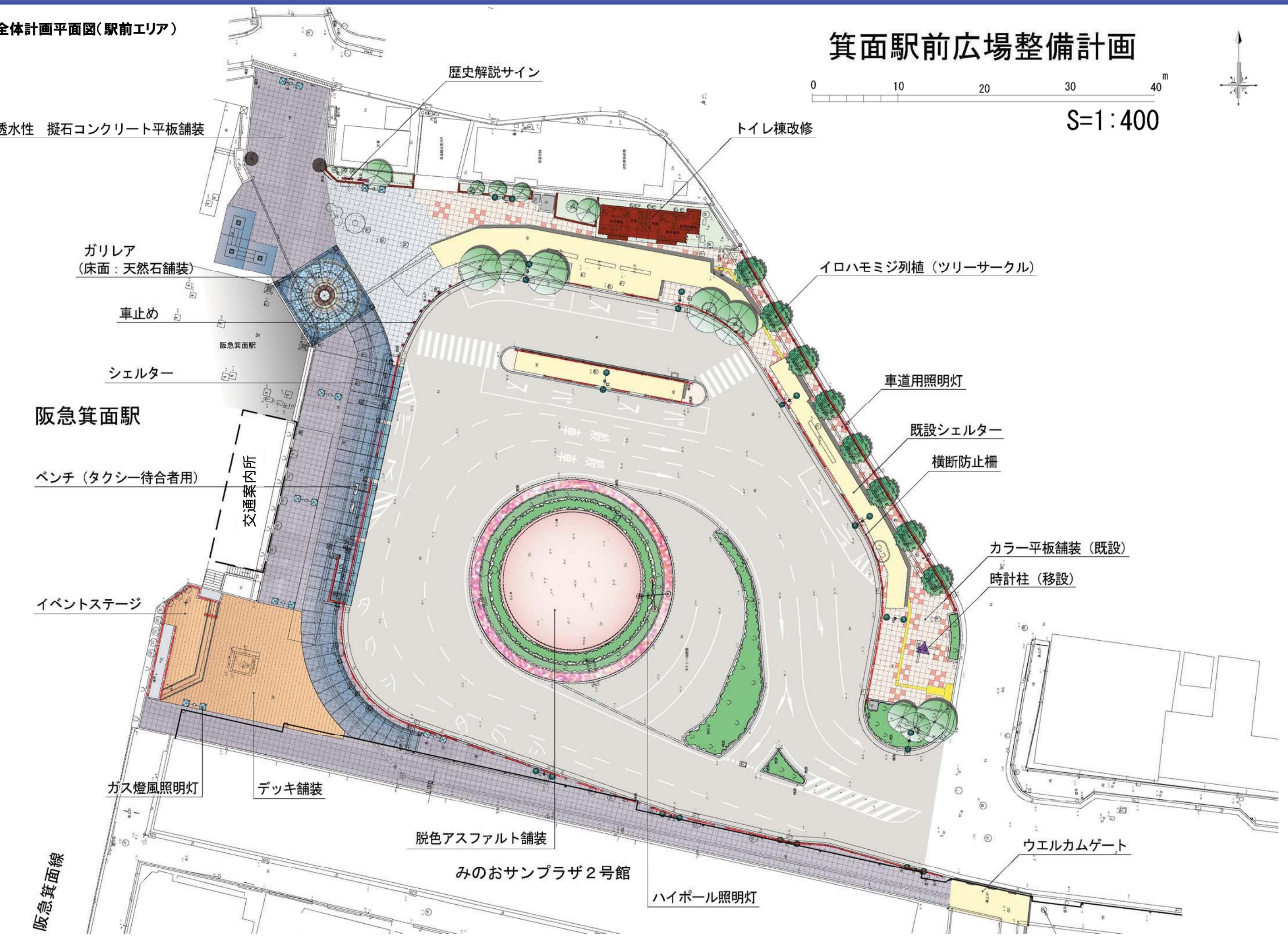
箕面駅前広場整備計画



0 10 20 30 40 m

S=1:400

●全体計画平面図(駅前エリア)



駅前エリア【外構施設】

(1) 舗装

●整備方針

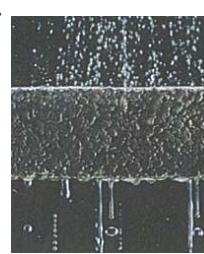
- ①駅前広場の西側～南側エリア(滝道方面～みのお本通り商店街へ至る範囲)について、既存のカラー平板を撤去し、“石畳の風合い”を感じられる「透水性擬石コンクリート平板舗装」によって改修する(色調はナチュラルブラックを基調とする)。
- ②他のエリアは、基本的に既設のカラー平板舗装を存置する。
- ③舗装色は、シックな趣が感じられる色調(ナチュラルブラックを基調とした構成)によって統一する。
- ④ガレリア内には天然石を敷き詰め、高級感あふれるエントランス空間として整備する。

●「透水性擬石コンクリート平板舗装」の整備イメージ

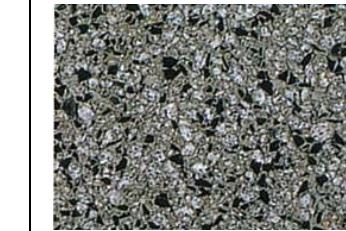


◆透水性擬石コンクリート平板舗装の特徴

- ・天然骨材と無機顔料を表層に使用しており、高級感あふれる風合いが感じられる。
- ・汚れにくく、色あせや変色が少ない。
- ・透水性のため水溜りや水はねが生じにくく、環境にやさしい。



◆色調：ナチュラルブラック



●ガレリア内の舗装イメージ

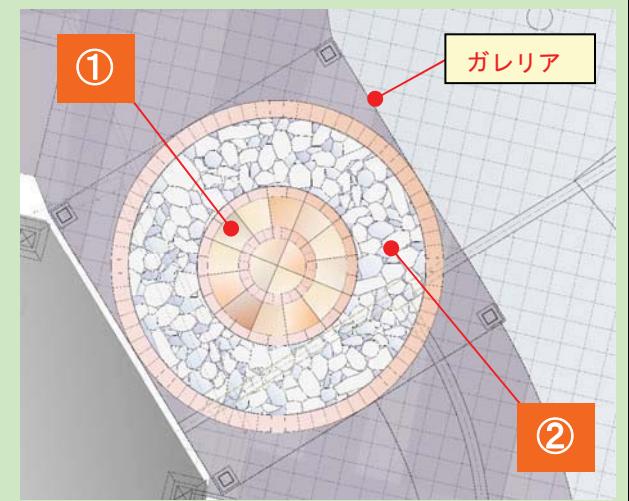
- ・ガレリア内には「天然石」をサークル状に敷き詰め、高級感あふれるエントランス空間として整備する。



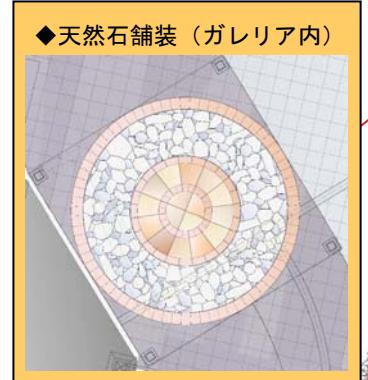
◆ガレリア中央部には、台形の切石を放射状に敷設する。



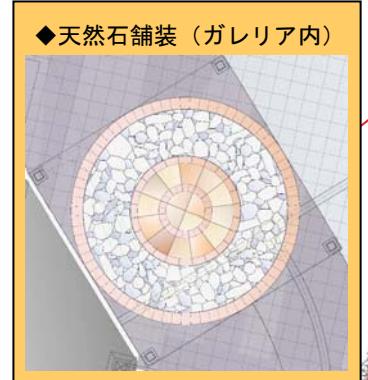
◆外周部は、不整形石板を乱張り状に敷き詰める。



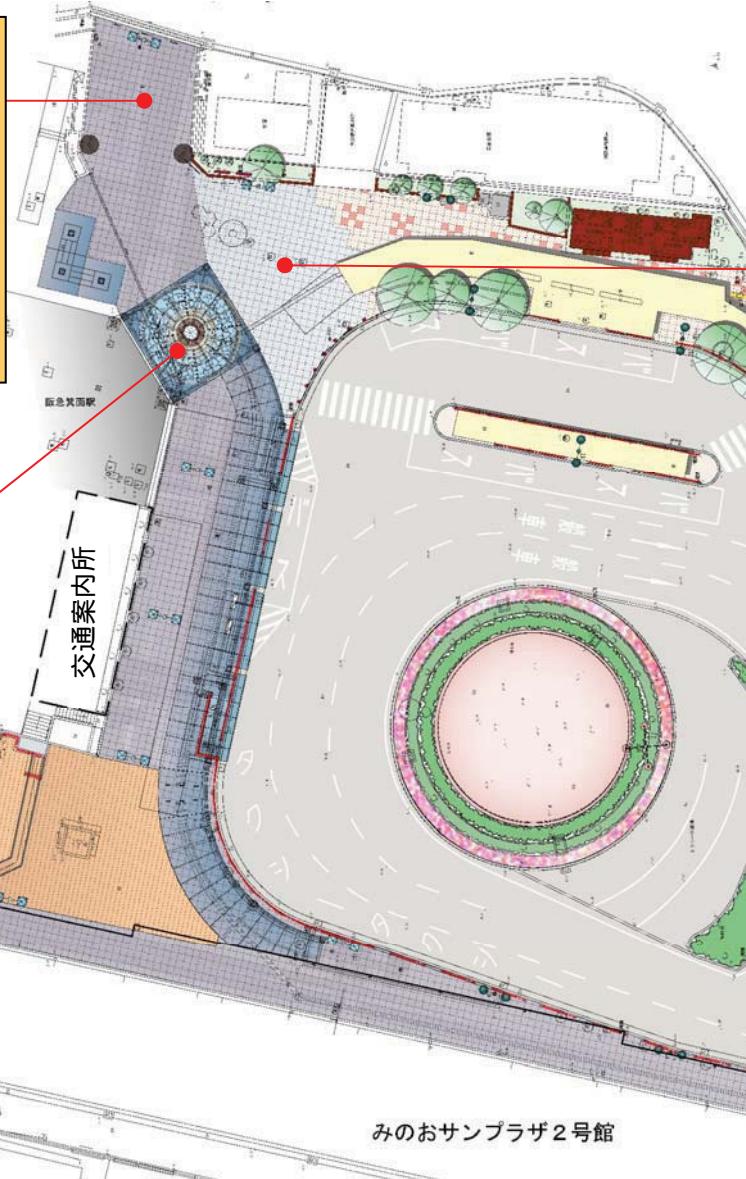
●舗装平面図



◆透水性擬石コンクリート平板舗装
[色調：ナチュラルブラック]



◆天然石舗装（ガレリア内）



◆ガレリア～既設シェルター間のエリアは「白御影調」の透水性擬石コンクリート平板舗装によって整備する。



◆既設カラー平板舗装



駅前エリア【外構施設】

(2) デッキ舗装

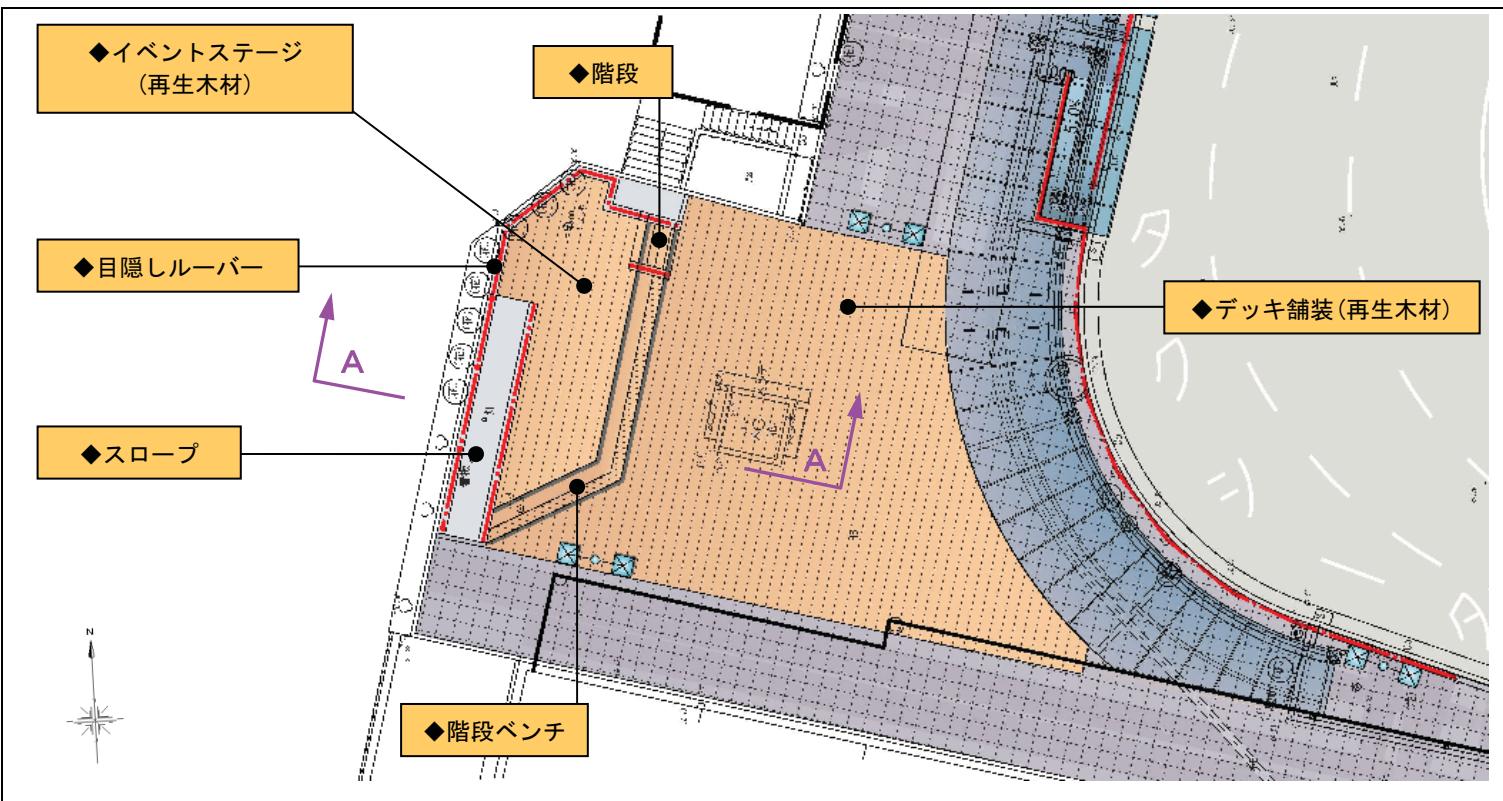
●整備方針

- ①計画地西側にデッキ材を敷き詰めることによって、駅前景觀にアクセントを与え、街の個性や都市美が感じられるような空間として整備する。
- ②デッキ材には、耐候性や耐摩耗性、歩行性等の各種性能にすぐれる「再生木材」を採用する。
(再生木材は、廃プラスチックと廃木粉を主原料とするリサイクル製品であり、環境にやさしい素材である。)
- ★天然木材は、経年変化による割れ・さざくれ・腐食等が懸念され、すべりやすい。
一方、再生木材は、すべり抑制効果が高いため、特に安全性を重視する必要のある公共空間への設置に適している。
[⇒ よって、当該駅前広場では「再生木材」を採用する。]

●「デッキ舗装」の整備イメージ



●配置平面図

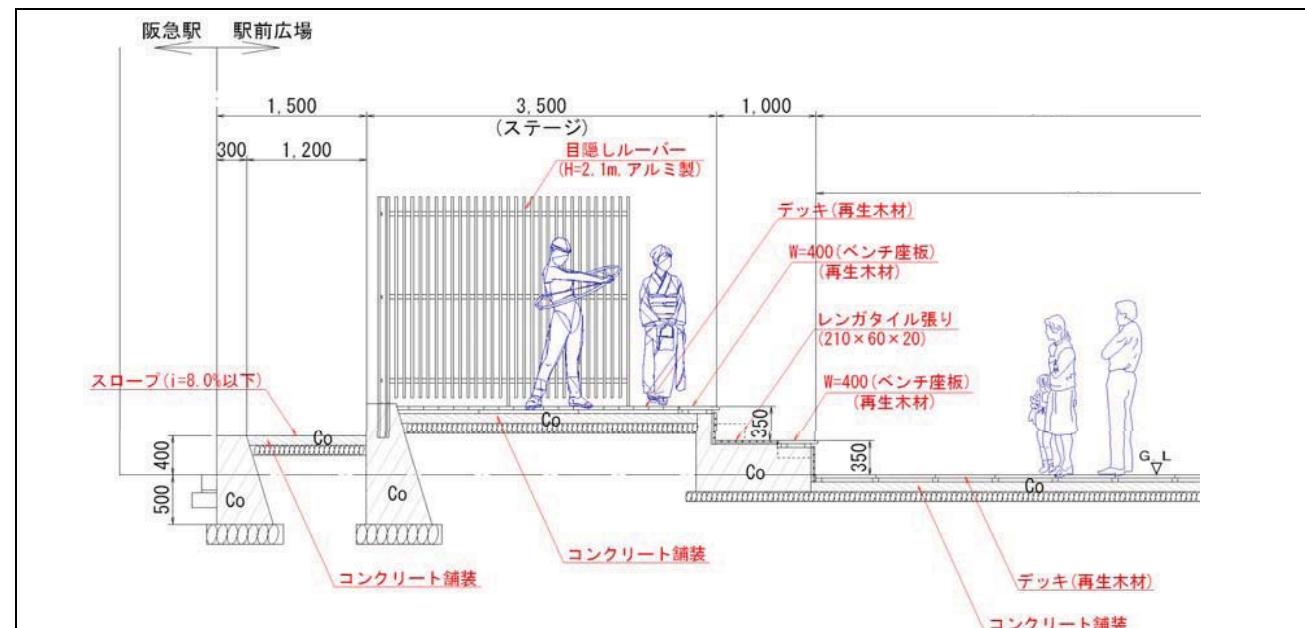


(3) イベントステージ

●整備方針

- ①待ち合わせやイベントなど多目的に利用できるイベントステージを計画地西側のオープンスペースに整備する。
- ②主部材には再生木材を使用し、デッキ舗装と一緒に駅前景觀向上に資する広場として活用する。

●「イベントステージ」の断面図 (A-A断面)



- ◆階段部はベンチとして利用できる形状とし、平常時には休憩スペースとして機能させる。
- ◆イベント用資材等の搬入を考慮し、ステージ裏手にスロープを整備する。
- ◆ステージ背面には目隠しルーバーを設置し、駅舎の無機質な景観を隠蔽する。
- ◆イベント利用を考慮し、コンセントボックスを併設する。

●「イベントステージ」の整備イメージ



駅前エリア【外構施設】

(4) 照明施設

●整備方針

- ① “滝道～駅舎周辺～アーケード”に至る動線上には、ガス燈風のデザイン照明を設置し、箕面市の歴史や明治らしさを演出する（電球色のLEDランプを使用）。
- ② その他の広場照明、ハイポール照明は、コスト縮減のため、ランプ交換のみによって対応する。（※既往の水銀ランプを「電球色ランプ」に交換し、本来のガス燈色（オレンジ色）に近い色合いで広場全体を統一する。）

▲既設広場照明

- ・水銀ランプから「電球色ランプ」に交換する。



★既設ハイポール照明

- ・水銀ランプから「電球色ランプ」に交換する。



▲ガス燈風照明

- ・電球色のLEDランプを使用



●照明施設の配置図

▲: ガス燈風照明（新設）

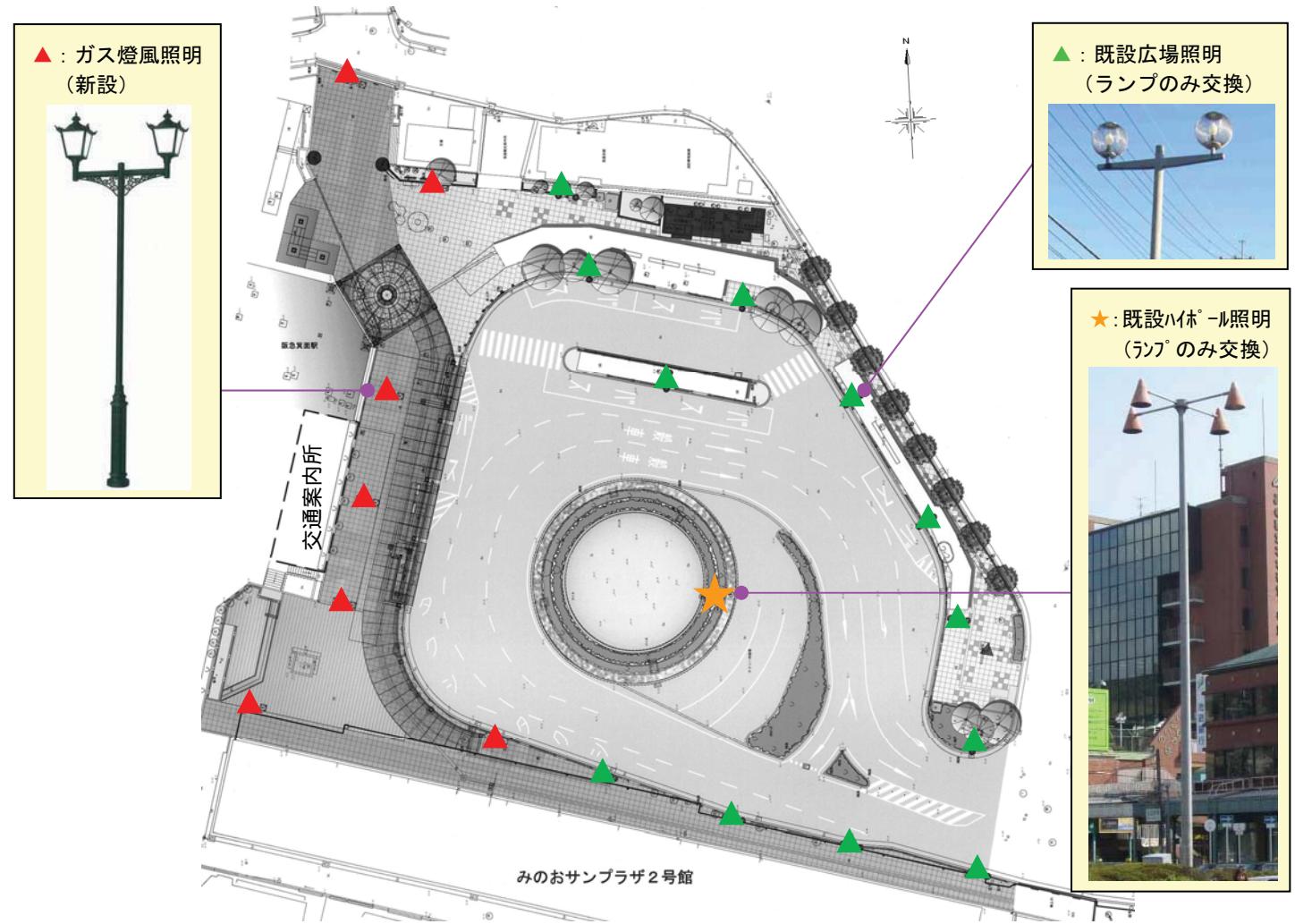
N=7基

▲: 既設広場照明（ランプのみ交換）

N=12基

★: 既設ハイポール照明（ランプのみ交換）

N=1基



(5) 植栽

●整備方針

- ① 箔面らしさが感じられる樹種、四季の変化が楽しめる樹種等を積極的に導入し、駅前広場全体の景観を演出する。
- ② 市民にとって愛着のある広場とするため、できるだけ既存植栽を残すことに努める。
- ③ 高木や低木だけでなく、地被類等を適度に取り入れることによって広場空間にアクセントを与える。
- ④ 駅前広場としてのシンボル性、滝道方面から商店街への見通し確保、緑陰の創出等を踏まえた植栽配置とする。
- ⑤ ロータリー中央部を舗装化し、様々なイベントに対応可能なスペースとして活用する。

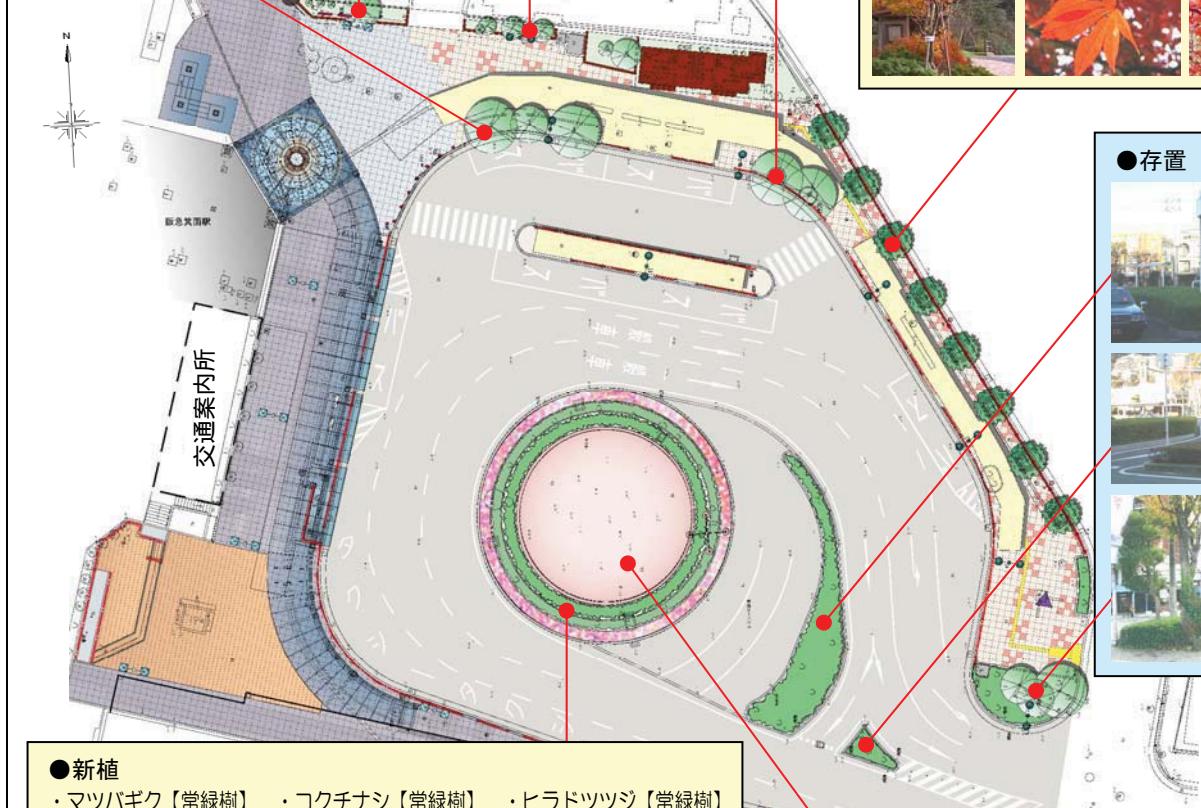
●植栽配置図

●存置



●新植

- ・イロハモミジの列植【落葉樹】
(紅葉時期：11月中旬～12月上旬)



●新植

- ・マツバギク【常緑樹】
(開花時期：5～6月)
- ・コクチナシ【常緑樹】
(開花時期：6～7月)
- ・ヒラドツツジ【常緑樹】
(開花時期：4～5月)



◇植栽配置パターン



●多目的利用スペース

- ・ロータリー中央部を脱色アスファルト舗装によって仕上げ、様々なイベントに対応可能なスペースとして活用する。（例：仮設トイレ、祭りやぐらの設置等）



駅前エリア【外構施設】

(6) 横断防止柵

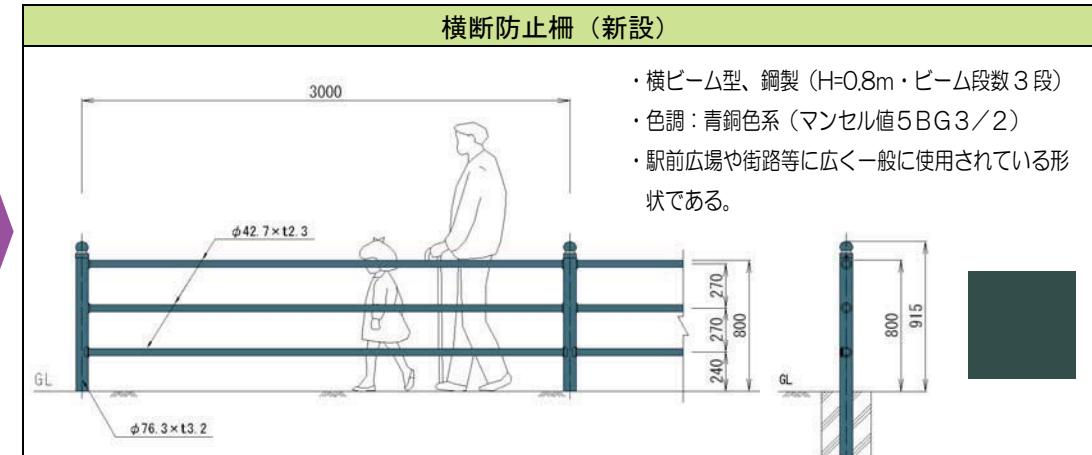
●整備方針

- ①歩行者等が車道をみだりに横断するのを防止するため、歩車道境界部に防護柵を設置し、安全で快適な広場環境を創出する。
- ②柵本体の形状は、控えめなシンプルなデザインとする。
- ③色調は青銅色系で統一し、広場内に渋みのあるレトロな雰囲気を創出する。

●横断防止柵のデザイン



・既設横断防止柵は経年変化による腐食の進行が顕著である。

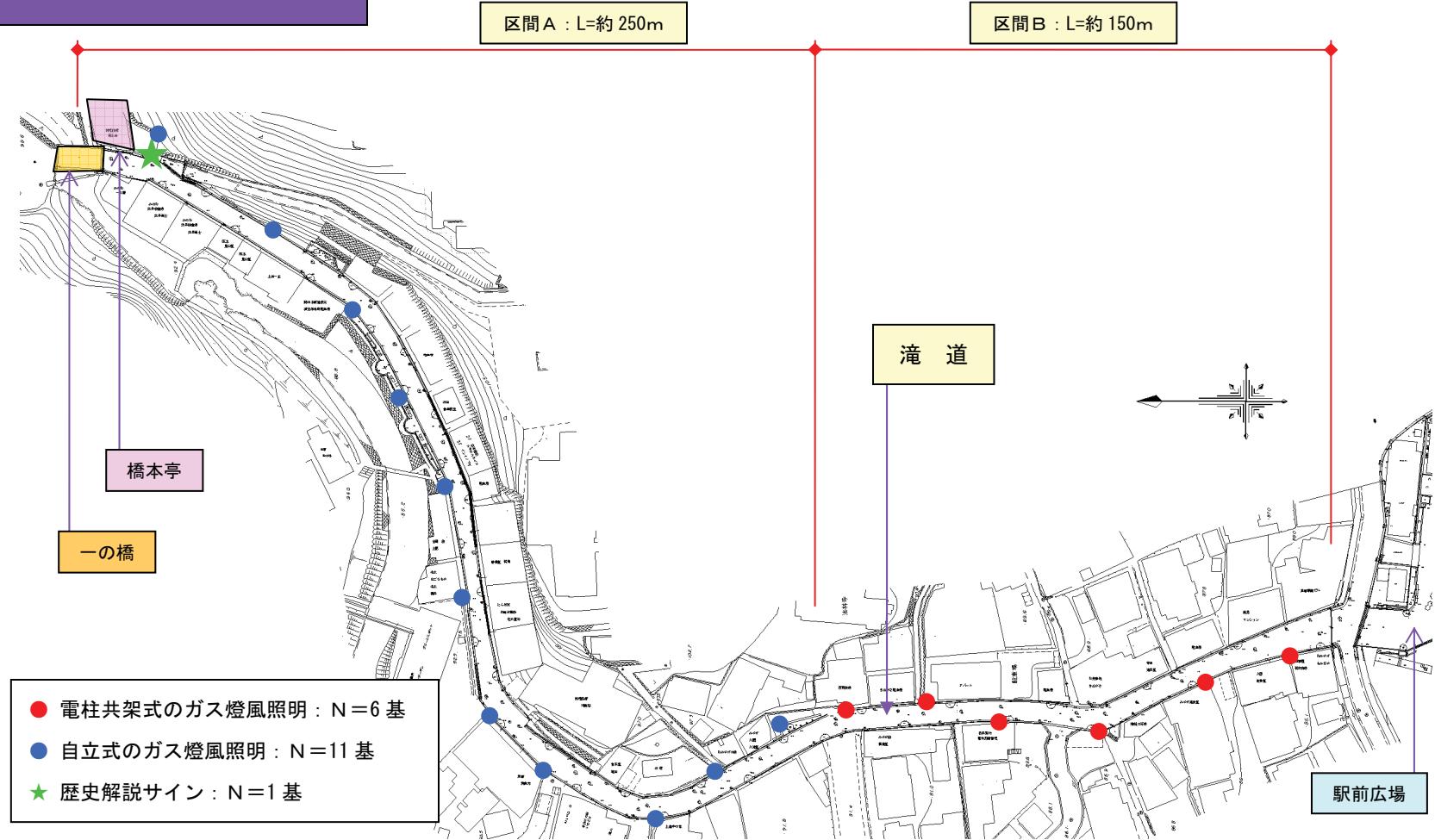
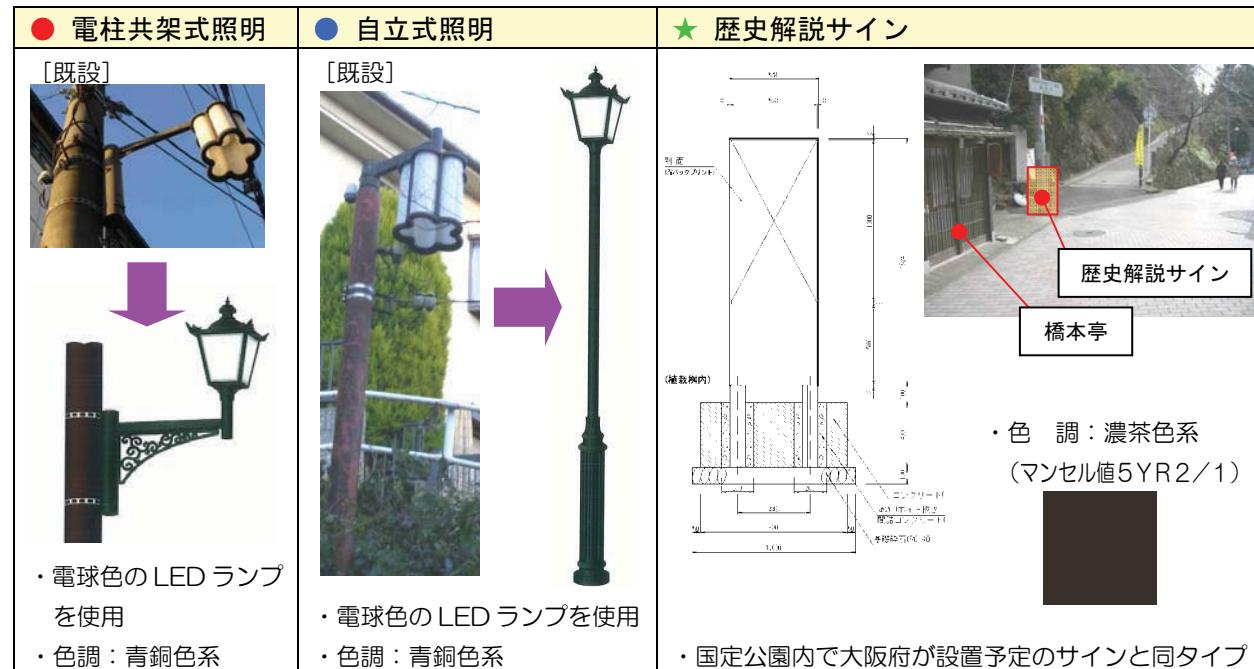


滝道エリア

●整備方針

- ①明治らしさを演出するため、滝道に設置されている既設照明灯をガス燈風照明に改修する。
(電球色のLEDランプを使用)。
- ②西江寺の歴史情報を観光客等に提供するため、橋本亭南隣りのスペースに歴史解説サインを設置する。

●照明灯・歴史解説サインのデザイン



駅前エリア【外構施設】

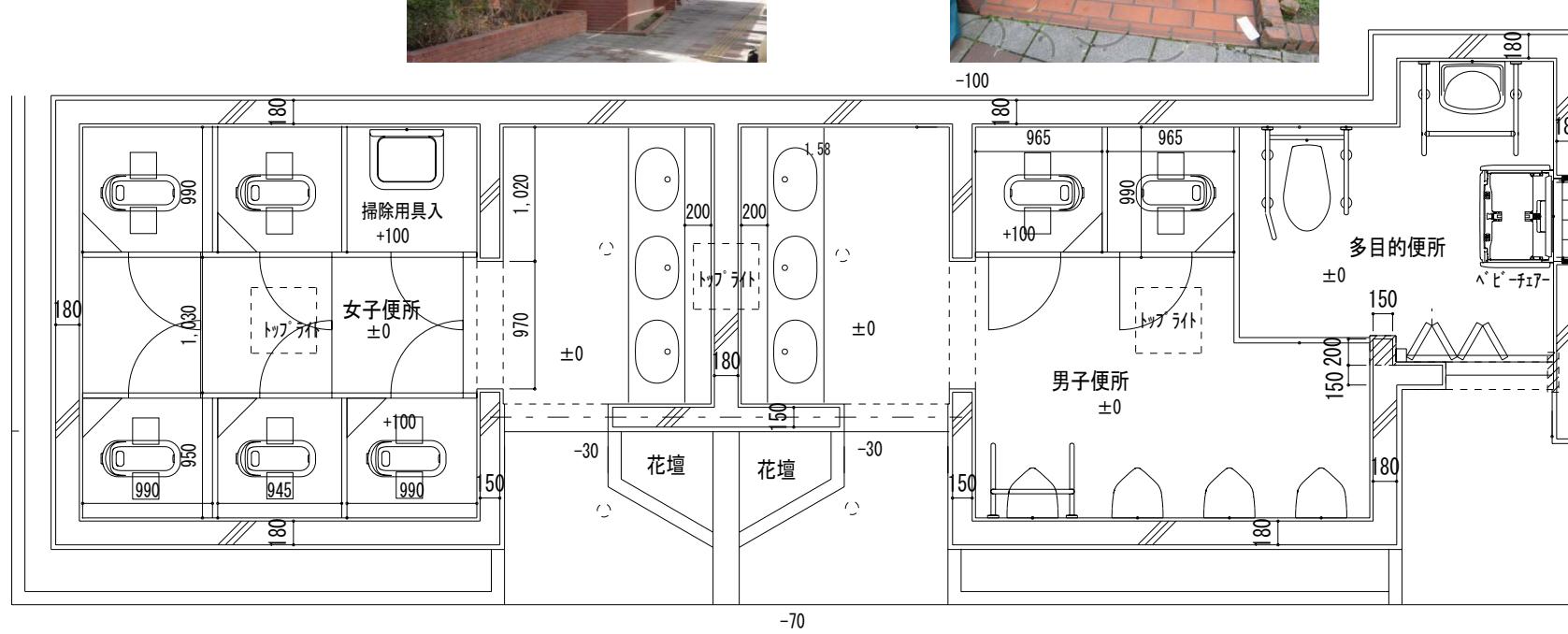
(8) トイレ棟改修

●現況

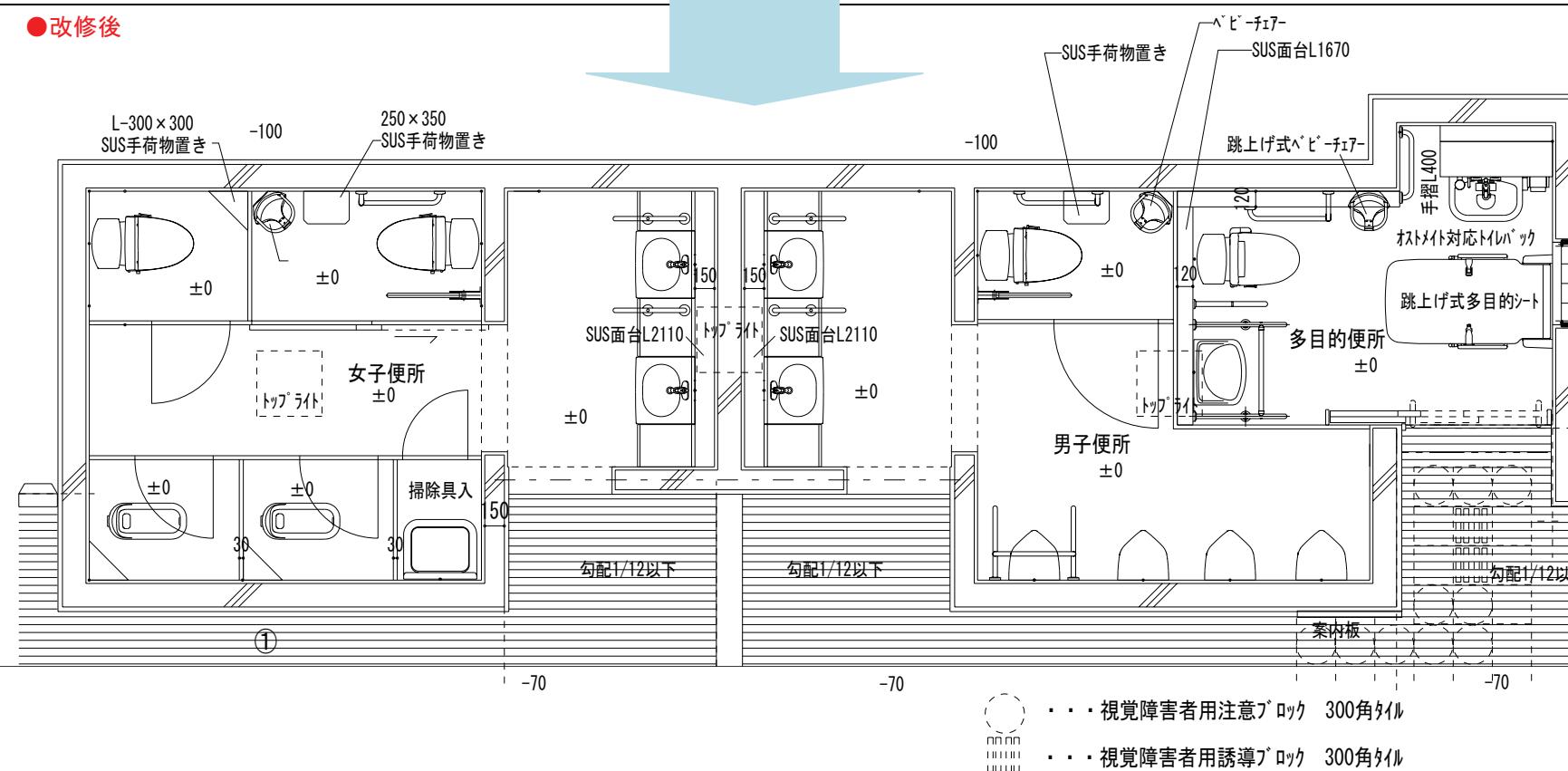
現況トイレ外壁



現況入り口



●改修後



男子トイレ小便器



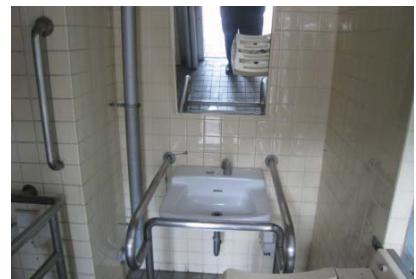
多目的トイレ便器



女子トイレ便器



多目的トイレ手洗い



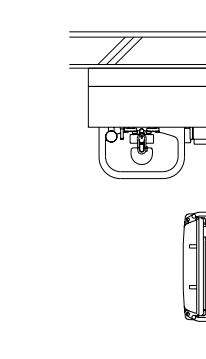
男子トイレ手洗い



多目的トイレベビーチェア



多目的シートを跳上げた場合



跳上げ式多目的シート



跳上げ式ベビーチェア



整備内容

箇所名	改修内容				
男子トイレ	大便器1(洋式)	小便器4	手洗い2	ベビーチェア1	
女子トイレ	大便器2(洋式)	大便器2(和式)	手洗い2	ベビーチェア1	掃除具入れ1
多目的トイレ	大便器1(洋式)	手洗い1	オストメイト1	多目的シート1	ベビーチェア1
内装	入り口の段差解消、各トイレブースの段差解消、内装壁の美化化				
外装	身障者用点字ブロックの設置、入り口舗装の改修				

※便器は陶器タイプに全箇所改修

※手洗いはセンサー式に改修

※身障者出入り口の幅を壁いっぱいに改修

※身障者用トイレはセンサー式に改修

※出入り口花壇撤去